

キズナ強化プロジェクト(派遣プログラム) アクションプラン

宮城大学 水野グループ

No.	アクションプラン詳細
1	<p>【国立台中科技大学、台湾大学の学生と共同で制作した応援ポスターを仮設住宅へ】</p> <p>【活動内容】</p> <p>私たちは、普段活動している宮城県多賀城市にある3つの仮設住宅(多賀城野球場応急仮設住宅・城南仮設住宅・山王仮設住宅)で暮らす住民の方々へ共同制作で制作した応援ポスターを贈る。4月中に実行予定。その際に台湾の方々の被災地への思いや派遣団員として台湾で活動した時のことをお話しする。</p> <p>住民の方々をはじめ、被災した方に日本の外にもこんなに東日本大震災で被災した地域や人々を重く受け止めている事実を伝えて元気になっていただきたいと考える。</p> <p>また、「誰かが自分たちのことを気にかけている」、そんな心の支えになるようなポスターを宮城県石巻市の仮設住</p>
2	<p>【宮城大学で講演会】</p> <p>【活動内容】</p> <p>所属している宮城大学で台湾派遣プログラムで活動し学んだことを発表する。5月までに実行する。</p> <p>私たちの大学では、被災地域にある大学として、多くの学生が東日本大震災とその後の復興について考えている。実際に復興支援活動をしている学生も多くいる。しかし、多くの活動が国内からの視点のみで震災について捉えようとしている。私たちは、今回台湾に派遣されたことで、新たな視点で震災について考え、それを行動に移そうとしており、自分たちと一番近い環境にある同じ大学の同世代の学生達にぜひ伝えたいと考えている。</p>
3	<p>【被災地の子ども心のケア】</p> <p>【活動内容】</p> <p>台湾で交流した学生達とのディスカッションの中で、今、復興に足りないものとして親をなくしてしまった子供の心のケアが必要ではないのかとあった。そこで、私たちが活動している仮設住宅で、子供向けのイベントを開催したいと思っている。夏休み期間を通して行いたい。(7月～8月)</p> <p>具体的な活動内容は、紙芝居の読み聞かせ、一緒に外遊び、仮設住宅で行われる夏祭りの際に、子供向け屋台の設置など、難しいことではなく簡単なことから、子供と楽しい時間を過ごす。何か楽しみがあるだけで心が少しでも</p>

宮城大学 赤澤グループ

No.	アクションプラン詳細
1	<p>【絆プロジェクト報告会】</p> <p>【活動内容】</p> <p>宮城大学にて今回の絆強化プロジェクト台湾派遣の報告会を実施する。実施する時期は大学に新入生が入ってきた4月から夏季休暇前までを予定。内容としては、台湾派遣プログラムで経験したこと、台湾の人々の震災の記憶や防災対策等についてとする。発表時は、現地で撮った写真等も交え、細かく説明をする。情報発信を目的とするので、対象は次代を担う若者である学生とする。</p>
2	<p>【国際センターへの横断幕の掲示】</p> <p>【活動内容】</p> <p>宮城大学国際センターへ国立台中科技大学の学生達と共同で制作した横断幕を掲示する。期間は4月から一年間を予定。東日本大震災から二年が経ち震災の記憶が風化しているが、同センターを訪れた方々に向けて、台湾の方々から変わらずに被災地を応援してくれているという思いを伝えるとともに、震災の記憶の風化防止を目的とする。</p>

宮城大学 中嶋グループ

No.	アクションプラン詳細
1	<p>【キズナ強化プロジェクト(台湾)報告会】</p> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日時 平成25年4月後半予定 ●場所 宮城大学太白キャンパス ●目的 台湾で学んだことを発信することで、多くの人(主に学生)に台湾について関心を持ってもらいたい ●発表方法 PPTを使った口頭での発表 ●内容 <ul style="list-style-type: none"> 主に大きく分けて五つの内容について発表する予定。 ①日程表:キズナ強化プロジェクト(台湾)のスケジュール、訪れた機関・地域について。 ②防災:台湾政府の防災対策水準は高いが、家庭レベルの防災意識はあまり高くないという現状。 対して、東北地方に住む私たちは震災を経験し、地震や津波に対する防災意識は高いが、それ以外の災害への防災意識は低い。 ③教育:台湾の学生の語学や世界情勢の意識の高さ。 例:台湾で交流した学生の日本語能力の高さ。 ④助け合いの心:3.11の際、台湾から日本がもらった義捐金の額は200億円以上。 日本も9.11震災の時に台湾に援助をした。 →二国間の親密さ・思いやり ⑤食文化:私たちが専攻している分野の為、台湾の食文化について発表する。 例:タピオカドリンクの量の多さ・価格の安さ、日本に売っていないフルーツの多さ、食文化の背景……など

No.	アクションプラン詳細
1	<p>【共同制作を被災地に届けよう】</p> <p>【活動内容】</p> <p>今もまだ仮設住宅に暮らすことを余儀なくされている住民の方々にA陣として国立台中科技大学、台湾大学の学生達と共同で制作した応援ポスターを実際に被災地の仮設住宅に届ける。 3月から4月にかけて贈る先である仮設住宅と調整しA陣合同で直接、届ける。</p>
2	<p>【台湾からの日本への復興支援、応援の気持ちを日本国内の人々に伝える】</p> <p>【活動内容】</p> <p>アクションプランの№1に付随し、応援ポスターを届ける際に、テレビ、ラジオ、新聞などの各種報道関係者に連絡して取り上げてもらう。このことにより、台湾からの変わらぬ復興支援の思いや仮設住宅の方々のみならず、より多くの人々に周知できる。 また、報道に取り上げられることで、台湾に対する日本人の理解を高めることにつながる。実施時期は、4月共同制作を仮設住宅に届ける際にマスメディアに取材してもらう。</p>
3	<p>【台湾と日本の今を共有しよう】</p> <p>【活動内容】</p> <p>今回の台湾派遣プログラムに参加して仲間になった派遣団員、また台湾で交流した学生達と連絡を取り合い、合同のFacebookのページを開設し、台湾と日本の重大ニュース、友好関係の出来事などを書き込み共有する。 3月中、派遣団全員で話し合いを行い、ページのコンセプト、概要を決定する。4月ページを開設して運用を開始する。</p>
4	<p>【アクションプランタイトル】 身近な人に台湾の良さを伝えよう</p> <p>【活動内容】</p> <p>今回のプログラムで、派遣団員は台湾のいいところや、震災時の支援、今も続く応援の気持ち、友好関係をたくさん知ることができた。それぞれ得た体験や、その気持ちを家族、友人などに広める。時期、活動は各自行う。自分のFacebookのページなどを用いることによってもかなりの効果が得られると考えられる。</p>
5	<p>【台湾で学んだ防災対策の知識を活かそう】</p> <p>【活動内容】</p> <p>私達はこれから地域医療を担う立場であり、各々の地域での防災対策や、非常時の医療にかかわるようになると考えている。今回の派遣で学んだ台湾各地での防災の手法や、調べ学習で得た非常時の対応の問題点などを各々が将来活動するであろう地域に還元する。これから、本格的に臨床医療を学ぶ立場として、防災対策と非常時の対応という観点を大切に学習を進める。</p>
6	<p>【来日する台湾の学生を案内しよう】</p> <p>【活動内容】</p> <p>今回出会った友人を通じて、台湾から来日する学生がいたら、積極的に案内や旅のプランニングにかかわるようにする。被災地の今を知ることができるスポットを紹介したり、ガイドブックには載っていない大学生の視点から見た日本の魅力を伝えられるように活動する。</p>
7	<p>【災害時の歯科医療の大切さをもっと広めよう】</p> <p>【活動内容】</p> <p>今回の台湾派遣プログラムで活動してみて、災害時における歯科治療の大切さはあまり知られておらず、人々の興味を引き付けるものであった。学生として、また将来は歯科医師として、国内外問わず災害時の口腔ケアの大切さを伝えていきたい。歯科医師向けの講演会だけではなく、自治体や一般の方々へ向けた情報発信も行いたいと考えている。</p>

福島大学 岩崎グループ

No.	アクションプラン詳細
1	<p>【活動内容】</p> <p>国立台湾大学の学生達と共同で復興への応援メッセージを書き込んだ横断幕を福島大学の国際交流センター前に掲示して、台湾の方々からの被災地への応援メッセージを見てもらうことで、復興の後押しと日本と台湾との関係を身近に感じてもらう。横断幕には、共同制作の過程で撮った写真も一緒に掲示する。</p>

福島大学 中島グループ

No.	アクションプラン詳細
1	<p>【応援ポスターの寄付】</p> <p>【活動内容】</p> <p>国立台中科技大学、台湾大学の学生達と共同で制作した応援ポスターを仮設住宅に贈る。贈る際は、下記、№2に挙げたキズナ強化プロジェクト台湾派遣報告会も行う。</p>
2	<p>【キズナ強化プロジェクト台湾派遣報告会】</p> <p>【活動内容】</p> <p>パワーポイントを使って本派遣プログラム中の台湾での活動や台湾と日本との関係(921大地震、八八水害、東日本大震災での日台相互の支援について)をわかりやすくまとめ、福島大学内、仮設住宅、その他の公共施設で発表する。この活動を通して、日本人に台湾の方々の復興支援の想いや台湾と日本の関係の緊密さを伝えたい。</p>
3	<p>【Facebook、Twitterなどでの情報発信】</p> <p>【活動内容】</p> <p>台湾の人々に向けて、福島の復興状況をfacebookやTwitterなどのソーシャルメディアを活用して発信する。</p>
4	<p>【キズナ強化プロジェクト全体報告会】</p> <p>【活動内容】</p> <p>キズナ強化プロジェクトで各国に派遣された日本人学生を集め、福島市、もしくは郡山市といった人が多く集まりやすい場所(広いホールを借りる予定)で、各国で行ってきた活動をそれぞれのブースを作る等して、シンポジウムを行う。また、各国に派遣された日本人学生と交流した現地学生を日本に招待し、各国の文化紹介をしてもらう。</p>